

## 外部評価意見への対応方針

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
1	H29.5	平成29年度運営方針の【めざす状態】を「子育てに対する不安感、負担感が減っていると感じることができる状態」とし、具体的取組の【目標】【課題】を「待機児童問題・子育て情報の発信」について挙げているが、めざす状態についての課題と対策を、具体的に示されたい。	子育てに対する不安感、負担感につながる要因は様々だが、その中でも、保育施設に入りやすいかということが、大きいと考えている。 大阪市をあげて取り組んでいる保育施設入所者の待機については、今年度末に解消し、以降についても、解消の状態を継続し、子育て環境の充実を図りたい。	⑤
2	H29.5	・就労支援について、生活保護受給者等に就労支援を行う事業者と介護人材就労コーディネーターとの連携がうまくいっていないおではないか。 ・介護事業所に就労しても、仕事がつく、長続きしないのではないかと。	・生活保護受給者等の就労支援を行う総合就職サポート事業受託事業者と介護人材就労コーディネーターとの齟齬が無いよう、連携を進めるとともに、雇用者側のニーズに沿う求人求職のマッチングに努める。 ・生活保護受給者等の適性にあったアドバイスを行い、就労意欲を醸成させる。 ・就労先として、高齢者、障がい者および児童福祉など、区内の社会福祉関係の事業所への就労に広げる。	②
3	H29.9	こどもの貧困対策にかかる取組に加えて、こどもの心の豊かさや視野を広げるような取組を充実していく必要があるのではないかと。	今年度より、こどものキャリア形成につながる取組として「キャリア教育推進事業」を実施している。引き続き、こどもがたくましく自立していくための力を育てていけるよう取り組む。	①
4	H29.9	こども達がこの先、変化の激しい社会を生きていくためには、自身の「生きる力」を育てることが大切である。 そのためには、海外を展望した、こども達が夢を持てるような取組が重要である。	区内市立中学校へ通う中学生を海外へ派遣し、こども達が心の豊かさや、グローバルな感覚などを身に付けることができるよう取り組む。	②
5	H29.9	地域で行われているイベント等も含め地域情報をきめ細やかに届けるためには、まちづくりセンターが行っている広報（ホームページなど）が有効であるが、その存在を知らない人が多く、広く周知する必要があるのではないかと。	広報紙「さざんか」11月号の中面特集において、まちづくりセンターを紹介した。今後も同センターとの連携を深めながら、よりきめ細やかに地域情報を区民へ届けられるよう取り組んでいきたい。	①
6	H29.9	加賀屋新田会所跡は、住之江区を代表する地域資源であり、地域と連携して魅力を発信するとともに、外国人も含めて、訪れた人がSNSで拡散しなくなるような工夫が有効ではないかと。	引き続き地域との連携を深めるとともに、外国人への周知も視野に、関係先とも調整しながら取り組んでいきたい。	②
7	H29.5 H29.9	防犯カメラは犯罪抑止に貢献している。昨年度は自動販売機の防犯カメラを含め公園等に新たに設置されたが、今後も増やしてほしい。	これまでに設置した防犯カメラを適切に運用するとともに、市民局や住之江警察署と連携しながら、通学路等に子どものための見守りカメラを設置する。	②
8	H29.11	様々な会議で同じような議論をしているので、それが連動すればさらに良くなるのでは。特にこの区政会議の部会でもリンクしているテーマがあるので、そのテーマについて議論する際には合同開催するなどして、さらに議論を充実させることが可能ではないかと。	今年度第3回部会における子ども・教育部会と福祉・健康部会について、合同で開催した。今後も共通したテーマについて議論することで、より充実した意見交換の場としていきたい。	①
9	H29.11	地域の問題を解決していく際に、地元の中小企業等との連携を活用できれば、キャリア形成の問題や様々な支援において、可能性が広がるのでは。まずは、中小企業の経営者に様々な取り組みや課題を知ってもらう必要があるのではないかと。	今年度、企業・NPO交流会に加え、企業間の連携をより促進するため、地域応援サークルを立ち上げた。 この仕組みを活用するなど、今後より一層企業への情報発信を強化していきたい。	②
10	H29.9 H29.12	学校の統廃合に伴う避難所の指定変更や、地域内に避難所が1か所しかないなど、地域の実情を考慮した避難所のあり方を考えていく必要があるのではないかと。	地域の実情を考慮した避難所のあり方については、各地域において作成する「地区防災計画（わがまち防災プラン）」に反映できるよう危機管理室と連携しながら支援する。	②
11	H30.2	区では、さまざまなイベントが実施されているが、必ずしも区民によく知られているとは言いがたいのが現状。せっかく区の予算を投じて実施するイベントなので、区民に広く周知できるよう、情報発信をより効果的に行うべきである。	区内各所に存在する個性豊かな歴史的・文化的資源を活かしてイベントを実施する目的は、区民が誇りに思い、区外の人々をも引き付けることのできる魅力を創出・発信することにあるため、魅力づくりを進めることとあわせて、効果的な発信にも取り組んでいきたい。	②

※分類

- ①当年度(29年度)において対応 ②30年度運営方針に反映または30年度に対応予定  
③30年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可  
⑤その他